

命を守るトイレ備蓄プロジェクト

あなたの声で、トイレの備えをあたりまえに

2026年6月25日

【1】命を守るトイレ備蓄プロジェクトが目指すこと

災害時のトイレ問題を解決するため、自助としてトイレを備える行動を喚起することを目的として、「命を守るトイレ備蓄プロジェクト」を立ち上げます。災害時に水洗トイレが使えなくなったときの備えの第一歩として「携帯トイレ*の備蓄」を呼びかけます。これをきっかけにトイレ対応の自助力を高め、災害関連死ゼロを目指します。

*携帯トイレ：断水や排水不可となった洋式便器等に設置して使用する袋タイプのトイレ。

【2】日本トイレ研究所が取り組むこと

本プロジェクトでは、自助としてのトイレ備蓄を推進するために、主に以下の4つについて取り組みます。

1. 全国規模で災害時のトイレに関する意識調査

年1回、全国47都道府県（4700サンプル）の災害用トイレに関する調査（インターネットアンケート）を実施し、継続的に意識及び備蓄状況の把握に努めます。

事前調査では、「災害用トイレ（携帯トイレ・簡易トイレ）」を自宅に備えている割合は20.6%であり、「飲料水」43.3%の約半分にとどまりました。

2. 携帯トイレの備蓄推進イベント（仮称）の実施

携帯トイレの備蓄の必要性を多くの人に知ってもらうため、備蓄推進イベントを実施します。また、備えて終わりにならないよう、使い方の確認、保証期間・保管場所の確認、補充の必要性などを啓発し、すでに備えている人にも備えのチェックを促します。トイレ備蓄文化の創出を目指して、継続的に実施していきます。

3. 災害時のトイレ自助力を高めるウェブサイト

本プロジェクトの趣旨や取り組み内容等をウェブサイトに掲載して広報します。災害時のトイレ対応に関する情報に関しては、災害が起きた時にすぐにシェアできるようします。また、携帯トイレなどの災害用トイレとはどのようなものか、使用方法、備蓄量の目安、併せて備えておくべきもの等を伝える啓発ツールを作成し、備蓄の行動を促します。

4. トイレ自助力の向上に賛同する地方公共団体との連携

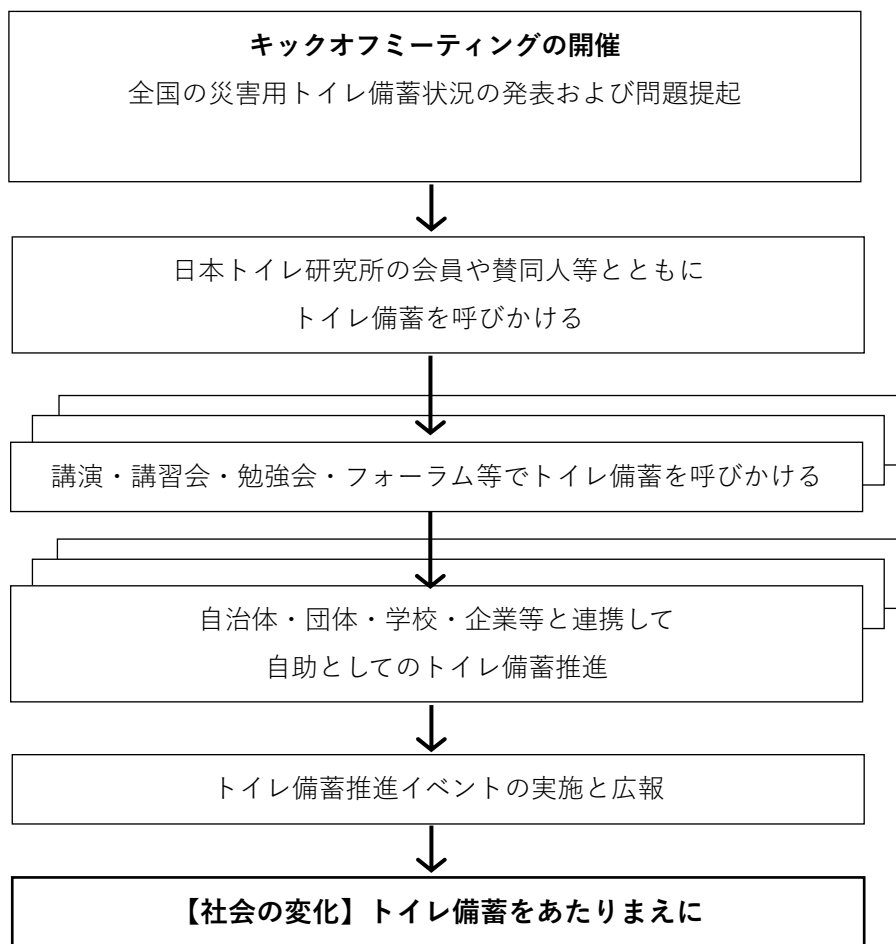
地方公共団体と連携して情報発信します。トイレの備えを周知する啓発ツール（データ）を自治体に案内し、市民・企業・団体に呼びかけられるようにします。

【3】一人ひとりが取り組むこと

5つのステップを設け、段階的に取り組めるようにします。

- Step 1 携帯トイレの使い方を知る
- Step 2 自宅等に必要なトイレの備蓄数量を確認する
- Step 3 携帯トイレを最低3日間、推奨7日間分を備蓄する
- Step 4 携帯トイレの備蓄を周囲の人に伝える
- Step 5 年に1回、携帯トイレの備蓄状況を確認する

【4】実施フロー



日本トイレ研究所

理事	加藤 篤	代表	原田雄美	副代表
	上 幸雄	副代表	石川嘉洋	
監事	松村正一	公認会計士		
顧問	小澤紀美子	東京学芸大学 名誉教授	辨野義己	辨野腸内フローラ研究所 理事長
	坂上恭助	明治大学 名誉教授		
アドバイザー	岡城孝雄	岡城技術士事務所 所長	中野美和子	小児外科医
	小原真理子	京都看護大学大学院 教授	森田 昭	元・日本環境衛生センター
	田中一雄	GK デザイン機構 代表取締役社長	吉川羊子	泌尿器科医

賛同人

秋富慎司	金沢医科大学病院 特任教授	阿部一彦	日本身体障害者団体連合会 会長
福井 照	国土強靱化・防災・減災支援機構 理事長	榛沢和彦	新潟大学 特任教授
浅野幸子	減災と男女共同参画研修推進センター共同代表	加藤孝明	東京大学 教授
加藤裕之	中央大学研究開発機構 機構教授	渡邊暁洋	日本災害医療薬剤師学会 会長
山崎宏史	東洋大学 教授	山海敏弘	建築研究所 客員研究員
豊貞佳奈子	福岡女子大学 教授	大塚佳臣	東洋大学 教授
鍵屋 一	福祉防災コミュニティ協会 代表理事	鈴木みゆき	絵本専門士支援協会 代表理事
水谷嘉浩	避難所・避難生活学会 代表理事	木下謙一	ラヌユニテッド 代表取締役
植田信策	日本赤十字社医療事業推進本部 参事監	根本昌宏	日本赤十字北海道看護大学 教授
中久木康一	東北大学大学院 特任講師	菅原健介	ぐるんとびー 代表取締役
中野明安	丸の内総合法律事務所 弁護士	岡山朋子	大正大学 教授
今石佳太	兵庫県立大学大学院 客員研究員	田村 圭子	新潟大学 特任教授
橋本淳司	水ジャーナリスト	玉田太郎	防災士研修センター 代表取締役社長
きたむらけんじ	放送作家	松本知之	マツモトモプロダクツ 代表
光永威彦	明治大学 准教授	石川淳哉	ソーシャルグッドプロデューサー
宮川祥子	慶応義塾大学 教授	阪本真由美	兵庫県立大学大学院 教授
廣井 悠	東京大学 教授	矢野雷太	広島記念病院 消化器外科医長

※順不同・敬称略 2026年6月25日現在